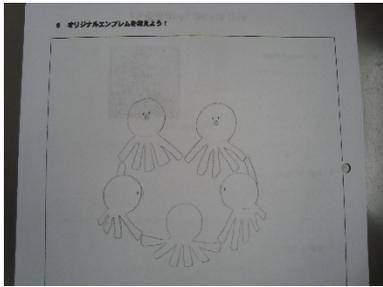
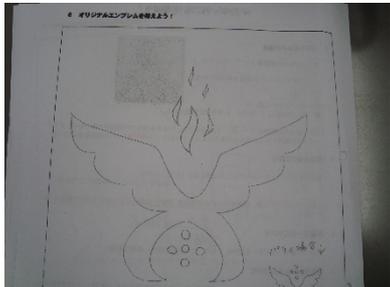
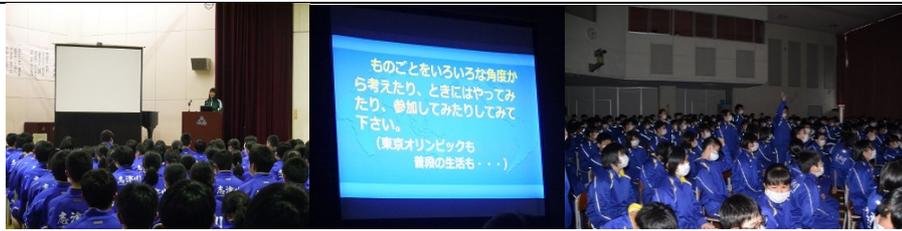


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

志津川中学校の取組

1 実践テーマ	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
2 実施対象者	南三陸町立志津川中学校 全校生徒226名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (保健体育)</p> <p>② 行事名 (オリンピック・パラリンピック講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピックに携わった方々の想いや経験を学ぶことで、東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるとともに、オリンピック・パラリンピックを身近なものとしてとらえられるようにする。
5 取組内容	<p>実践内容</p> <p>① 保健体育において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの歴史について学び、創始者クーベルタンの想いを理解するよう努めた。 ・南三陸町でオリンピック・パラリンピックが開催されたと仮定して、その時に使われるエンブレムを考案した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>② 学校行事において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市立鶴谷中学校 教諭 鮎貝志保先生による講演 (鮎貝志保先生はサッカーの女子国際副審員の資格を取得し、アテネオリンピックではサッカーの試合に副審として参加なさいました。) ・演題「サッカーを通して学んだこと」 ・講演を通して、オリンピックについてはもちろん、審判の視点から試合中の審判の役割や注意すべき点などについて学んだ。 ・講演を通して、他国の方々との付き合い方について学んだ。



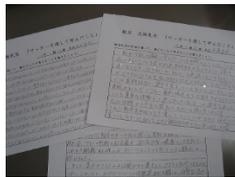
事後学習

①保健体育科において

- ピョンチャンオリンピックが近かったこともあり、競技の動画を鑑賞させることで、より興味を深めさせることができた。
- フェアプレーについて考えさせることができた。また、その考えをスポーツだけではなく普段の生活にも生かすように指導できた。

②学校行事において

- 講演を聞いた後、それぞれが感想や感謝の気持ち、または学んだことなどを作文した。



	<p>事後学習</p> <p>①保健体育科において</p> <ul style="list-style-type: none"> •ピョンチャンオリンピックが近かったこともあり、競技の動画を鑑賞させることで、より興味を深めさせることができた。 •フェアプレーについて考えさせることができた。また、その考えをスポーツだけではなく普段の生活にも生かすように指導できた。 <p>②学校行事において</p> <ul style="list-style-type: none"> •講演を聞いた後、それぞれが感想や感謝の気持ち、または学んだことなどを作文した。
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> •オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が今まで以上に高まった。 •オリンピック・パラリンピックを今まで以上に身近なものとしてとらえられるようになった。 •サッカーの試合を、審判の側からも意識して観戦できるようになった。 •スポーツの試合は、様々な方の支えがあって成り立っていることが理解できた。 •選手だけでなく、審判の方もトレーニングが必要なことを理解できた。 •文化や考え方が異なる方とも、スポーツを通じて仲良くなれることが理解できた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> •自分たちの身近にもオリンピックで活躍した方がいることを認識できるように、地元出身の方を講師として呼び出した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> •年間指導計画の中に位置づけて、実施内容などについて計画的に取り組む必要がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>特記事項なし</p>